

令和 5 年 6 月 29 日現在

機関番号：22701

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2017～2021

課題番号：17H04458

研究課題名（和文）重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証

研究課題名（英文）Development and Evaluation of Rehabilitation Program depending on Patients with Severe Body and Dysphagic Conditions

研究代表者

千葉 由美（CHIBA, Yumi）

横浜市立大学・医学部・教授

研究者番号：10313256

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,900,000円

研究成果の概要（和文）：重症患者（循環器系疾患患者）を対象とした摂食嚥下機能に応じたプログラム作成に際し、調査項目に関する有効な英語論文は十分とはいえない状況である。本プロジェクトの研究遂行内容に関する有識者による具体的な話し合いを踏まえ、より質の高い臨床実践プログラム作成に向けて、第一段階のプレ調査、ならびに調査の不足項目の把握と必要項目の選定を臨床的な視点から行うことが重要であることが確認された。循環器系（外科、内科）の有識者や先進的医療を提供している高度実践者から情報を得ることが必要と考えた。米国の視察なども踏まえ、循環器系疾患を有する患者への医療体制として必要となる要因について定性的に把握した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

重症患者（循環器系疾患患者）を対象とした摂食嚥下機能に応じたプログラム作成に際し、有識者による具体的な話し合いを行い、課題の抽出を遂行した。より質の高い臨床研究の実装を目指して、先行研究の確認、調査の不足項目の把握と必要項目の選定を臨床的な視点から行ってきた。アウトカムや関連要因の設定の難易度が高く、循環器系（外科、内科）の有識者や先進的医療を提供している高度実践者から情報を得ながら、医学的視点と看護実践の視点から方法論を検討してきた。米国視察なども踏まえ、循環器系疾患患者への医療体制を広く把握し、慎重に研究のデザインを練ってきた。概ね研究の骨格を形作り、具体的な調査に向けての準備を整えた。

研究成果の概要（英文）：When creating a program for critically ill patients (patients with cardiovascular diseases) according to their feeding and swallowing functions, the number of valid English-language articles on the survey items is still insufficient. Based on the specific discussions among the experts on the content of this project, it was confirmed that it is important to conduct a pre-survey in the first phase, as well as to identify missing survey items and select necessary items from a clinical perspective, in order to create a clinical practice program of higher quality. It was considered necessary to obtain information from experts in the cardiovascular system (surgery and internal medicine) and advanced practitioners providing advanced medical care. Based on visits to the USA, we gained a qualitative understanding of the factors that are necessary for a medical system of patients with cardiovascular diseases.

研究分野：成人看護学

キーワード：摂食嚥下障害 循環器疾患 リハビリテーション プログラム開発 重症患者 心臓疾患 効果 評価

1. 研究開始当初の背景

重症患者の摂食嚥下障害に関する研究は、国内外ともに近年になって取り組まれるようになった状況で、嚥下障害(咽頭期障害)の回復、つまり誤嚥、誤嚥性肺炎予防のための早期開始のリハビリプログラム開発やその介入効果を示した系統的な研究は、国内外にほとんど見られない。摂食嚥下障害は、先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期の5期のそれぞれに特有の原因・症状が存在するが、経口摂取開始の判断を行うためには、全身状態(高次脳機能、呼吸・循環等)咽頭期、嚥下機能の関連症状の評価等が臨床上重要である(日本老年看護学会, 2008)。また、全身状態には、重篤な心肺合併症等、状態の安定性、脳血管病変や障害の著しい悪化・進行の有無等があげられ、疾患が急性期、重症な場合には基礎疾患に対する重症管理・対応も重要となる。咽頭期障害は、直接死因となる誤嚥、誤嚥性肺炎につながる可能性が高く、疾患の重症度は医療介入としての全身・摂食嚥下リハ、訓練のメニュー選択にも影響することから、重症度、全身状態、咽頭期等の適切な評価、そして診断・治療、日常生活支援等を包括的・継続的に医療提供し、患者等のQOLを向上するための効果効率的な医療アプローチが必要と考える。日本の全国悉皆横断調査では、病院での摂食嚥下障害率は約16%、その中で誤嚥性肺炎の発症率は約10%(千葉他, 2006) 2014年は12%(千葉他, 2015)で、摂食嚥下リハの対象数が減少していると言いき難い。摂食嚥下障害を有する入院患者の中で、意識レベルが清明でない者が約1/3、咳反射(誤嚥徴候)の出現は6割以上、日常生活レベルの低い者が8割超で、2012年に実施した摂食嚥下障害看護認定看護師を対象とした脳血管障害患者の調査では、入院患者の全身状態が経口摂取開始に影響し、その後の摂食嚥下訓練を含む多岐に及ぶケアに影響していた(千葉他, 未発表)。これまで集中治療室等の重症疾患患者の基礎疾患や摂食嚥下障害ケア、フォローアップを組み合わせたMixed Care Interventionによって退院後の死亡率の減少等が示されているが(Middleton et al., 2011, Camaby, et al., 2006) より専門的な介入が重要である(Goldman, et al., 2014)。

重症入院患者の摂食嚥下障害の機能回復に関する影響要因(疾患の重症度、状態等)を精査するとともに、患者の状態別に早期開始のリハビリプログラムを作成し、介入効果を検証した国内外の大規模研究は見られない。本調査は、成人・高齢の重症患者への経口摂取開始に向けた包括的アプローチの整備を目的としており、日本の急務の課題と考える。

2. 研究の目的

重症患者に対する誤嚥性肺炎発症予防には、循環・呼吸管理、医療処置、機能評価等の専門知識や技術を必要としており、これら医療者の介入技術を前提として課題抽出と解決の糸口を見出すことが、より効果的な介入プログラムづくりに役立つと考える。申請者は経年的に誤嚥性肺炎の発症に関する要因の特定化を試みてきており、医療の質保証に不可欠なHuman Factorとして咽頭期の機能評価の理解と実践によって、誤嚥性肺炎の新規発生が軽減されることを確認した(千葉, 2012)。臨床では、重症心不全の患者や術後反回神経麻痺等の患者等、重度疾患を有する患者に対する経口摂取開始のためのアプローチの整備とその効果検証は、国内外ともに体系化されていない。また、近年になってリハによって循環器、内分泌、筋等へ影響が及ぶことが生物学的なレベルで証明されてきており(後藤, 2009) 創部治癒の炎症期が終了する1週間までに何等かの形で早期リハを開始することは、全身、摂食嚥下機能の回復(あるいは、廃用予防)等に意義があると考えられる。

本課題の内容は、国内外でも今後、発展させる必要性のある内容で、高齢化の進む日本においては、摂食嚥下障害の対象者は増加することが考えられる。重症疾患を有する成人・高齢患者の予後は不良で、摂食嚥下の回復、修復の過程を促進する早期リハの具体的方法論を見出すことは、患者の機能回復、QOL向上の点で、急速な対応が求められる課題と考える。これまでの研究代表者の研究から得られた知見や国内外の文献を踏まえながら、循環器疾患等の重篤な状態にある成人・高齢患者の全身(高次脳、循環・呼吸等)及び摂食嚥下状態に応じた嚥下機能回復のための課題や要因を見出し、これらの課題を解消すべく患者の状態を分類し、その別に早期開始のリハビリテーションプログラムを開発し、介入効果に関する検証を行う。

3. 研究の方法

本研究では、循環器疾患等の重篤な状態にある成人・高齢患者の全身(高次脳、循環・呼吸等)及び摂食嚥下の状態に応じた嚥下機能回復に関わる課題や要因を見出すとともに、これらの課題を解消すべく患者の状態を分類し、その別に早期開始のリハビリテーションプログラムを開発し、介入効果に関する検証を行う。特に重症患者における摂食嚥下障害、経口摂取開始等に向けて基礎疾患発症に伴う対応とともに、背景要因や介入負荷などを考慮する。

(1) 文献検索

文献検索は、1)重症患者の定義づけのための文献レビューを丁寧に行い、意味のある高次脳、循環・呼吸等の生理学的指標や臨床所見の整理を行う。特に基礎疾患の治療等に伴って生じる治療・ケア、及び摂食嚥下の関連所見等を抑える。これらの作業の際には、血液データ(ドーパミ

ンを測定するホモバニリン酸:HVA等)や尿検査等の重要な検査指標も同時に把握・整理する。
2) 全身・摂食嚥下リハ内容(特に神経・筋等)に関する重要項目を文献から整理する。特に負担度や頻度、及び効果等に着眼し、より低侵襲で実施可能(脱落が少ない)な内容を見極める。

(2) 患者対象調査

【対象】

・患者:重症入院患者とは誤嚥リスクの高い全身状態(高次脳・呼吸・循環等)や摂食嚥下機能の低下している患者で、重度心疾患、重度呼吸器疾患、循環器疾患の手術後、長期非経口摂取(挿管)患者等の患者とする。まず、どういう課題があるかを事例的に予備調査し、さらに、文献レビューや医療の必要度、難易度、専門家の意見等から、調査すべき優先的な基礎疾患を絞る。対象数は分析可能対象数と考え、1疾患100名程度を目安とする。

・病棟:病棟の管理者に病棟調査を行う。

【施設】

東京・神奈川県等の大規模急性期病院の複数施設で Intensive Care Unit (ICU)(集中治療室)・High Care Unit(HCU・準集中治療室)、循環器・呼吸器などの外科系病棟、緩和ケアを必要とする内科病棟等。

【方法】

各病棟で、重症、かつ摂食嚥下障害を有する患者抽出を行うとともに、患者の基礎疾患に伴う全身状態(栄養状態を含む)、摂食嚥下機能(特に咽頭期)状態、臨床評価等を確認し、早期リハを要する摂食嚥下障害患者を選定する。さらに、特定された対象者に対して、全身・摂食嚥下機能の詳細な事項を把握し、必要項目についてモニタリングする。これらの調査の効果指標は、帰結、臨床指標(体重の増減、栄養状態等)、生理学的指標等とする。この調査の際、経口摂取開始となった条件やタイミングについて「摂食嚥下開始の判断基準項目」に照らし合わせて経過を確認する。また、患者調査期間中の各病棟の概要(ベッド数、入院患者数)、咽頭期障害者数、誤嚥性肺炎、誤嚥性肺炎以外の肺炎の発症数等を確認する。

【内容】

基礎疾患(重症度、各疾患の中で診断基準がある場合には、その内容を確認)、既往歴、年齢・性別、摂食嚥下に関連する薬剤、認知症レベル、Activities of Daily Living (ADL)、バイタルサインズ、体重、Body Mass Index (BMI)、簡易栄養状態評価表(MNA)、アルブミン値、炎症反応などの血液、尿検査データ、摂食嚥下障害機能評価項目(RSST、MWST、FT、ビデオ嚥下造影・ビデオ内視鏡、リハ訓練内容等)のデータを収集する。分析は、「経口摂取開始」までと「経口摂取開始」から1週間までの毎日の経過を定量的・定性的に分析する。また、退院までの期間、帰結内容等を確認する(文献レビュー後に項目を変更することがある)。

【分析】

分析時の従属変数は、先に述べた効果指標とする。定性的分析については、整理をした後、デルファイ、あるいは内容分析を実施する。定量的分析には、SPSSver22.0を用いる。

系統的な医療介入のための早期リハプログラム作成

文献レビュー、及び先行調査結果等を踏まえて早期リハプログラムを作成する。リハプログラムには、重症患者のうち、摂食嚥下障害(特に咽頭期障害)を選定するための基準設定から、全身・摂食嚥下機能、経口摂取の希望等の詳細項目の結果を踏まえたリハプログラムの組み合わせ(マトリックス)を作成し、各々のリハプログラムの具体的な内容を明らかにし、最終的にリハ介入のためのプログラムを完成させる。臨床での専門領域(循環器、呼吸器、消化器、耳鼻咽喉、リハビリテーション関連)の医師、歯科医師、認定看護師、言語聴覚士等の多職種の有識者の意見を反映し、精選する予定である。

患者対象の介入調査

【対象】

・患者:前回調査と同様の対象とする。

・病棟:病棟の管理者に病棟調査を行う。

【施設】

東京・神奈川県等の大規模急性期病院の複数施設で Intensive Care Unit (ICU)(集中治療室)・High Care Unit(HCU・準集中治療室)、循環器・呼吸器などの外科系病棟、緩和ケアを必要とする内科病棟等。

【方法】各病棟で、重症患者で摂食嚥下障害を有する患者抽出をこれまでの作業に基づき、通常の医療介入群と開発されたリハプログラムを用いた医療介入群とで、実践内容、患者指標等について比較検討する。

【内容】

基礎疾患(重症度、各疾患の中で診断基準がある場合には、その内容を確認)、既往歴、年齢・性別、認知症、ADL (Activities of Daily Living)、バイタルサインズ、摂食嚥下障害機能評価項目、体重、Body Mass Index(BMI)、簡易栄養状態評価表(MNA)、アルブミン値、炎症反応などの血液、尿検査データ、摂食嚥下障害機能評価項目(RSST、MWST、FT、ビデオ嚥下造影・ビデオ内視鏡、リハ訓練内容等)のデータを収集する。分析は、「経口摂取開始」までと「経口

摂取開始」から1週間までの毎日の経過を定量的・定性的に分析する。また、退院までの期間、帰結内容等を確認する(平成29-30年度までに実施する調査結果に基づき変更する可能性あり)。さらに、患者調査期間中の各病棟の概要(ベッド数、入院患者数)、咽頭期障害者数、誤嚥性肺炎、誤嚥性肺炎以外の肺炎の発症数等を確認する。

【分析】分析時の従属変数は、同様の効果指標とする。定性的分析については、整理をした後、デルファイ、あるいは内容分析を実施する。定量的分析には、SPSSver22.0を用いる。

4. 研究成果

(1) 文献検索

調査項目に関する有効な英語論文が十分でないことを受けて、文献レビューを経年的に進めてきた。さらに、研究デザインについての有識者による具体的な話し合いの場を設け、研究遂行上の課題の洗い出しを行った。より質の高い臨床実践プログラム作成に向けて、第一段階のプレ調査の必要性、ならびに調査の不足項目の把握と必要項目の選定を臨場的な視点から行うために、有識者と高度実践者から情報を得ることが必要と考えた。そこで、先進的医療の一つである心臓・肺移植術の提供実績のある米国の急性期病院において、胸部外科(心臓・肺)手術患者を対象とした摂食嚥下障害に関する実践・医療体制等を視察した。その結果、特に肺移植患者に対する誤嚥は、移植肺へのダメージに直接影響することから、患者の全身状態のモニタリングとともに、病院基準にそった術前、術後の摂食嚥下のリスク評価、ならびに誤嚥予防が行われていた。また、手術カンファレンスには、医師や上級看護師であるNP(Nurse Practitioner)をはじめとする多職種が参加し、円滑なチーム医療体制が整備されていた。いくつかの要因が関わることから調査の関連内容を整理するのにやや時間を要した。

重症患者(循環器系疾患患者)を対象とした摂食嚥下機能に応じたプログラム作成とその効果検証のために用いる調査項目を抽出するための有用な英語論文は、散見される程度であった。これまでの検索分に加え、アップデートした分を含めても網羅した情報を得るのに十分とはいえない。収集論文を検討するとともに、有識者の意見を収集し、効果効率的な調査のためのデザインを練った。作業を進める中、本プロジェクトでは、開胸術や心不全等といった循環器疾患に罹患した入院患者を対象とすることとなった。これらの疾患の罹患患者に対する研究は先駆的試みである。これらのことから臨床的に意義のある研究デザイン構築のために臨床的な知見を有する医療職への聴取や参考となる論文をさらに広く把握する必要性があり、研究デザインの検討に時間を要している。本プロジェクトで遂行予定の臨床実践プログラム作成の方向性について、継続的に検討を進めてきている。第一段階のプレ調査(後ろ向き調査)については、データを見直すとともに介入調査を進めるために、循環器系(外科、内科)、呼吸機能、嚥下機能、ならびに帰結評価の項目選定を臨場的観点からも行ってきた。

日本において心不全入院患者を対象とした論文が散見されるようになってきているが、臨床的に意義のある研究デザイン構築のために参考となる論文は殆どないことから、研究デザインの検討に時間を要している。本プロジェクトで遂行予定の臨床実践プログラム作成の方向性についてはおおむね決まったところであり、さらなる細部の調整を進めている。第一段階のプレ調査(後ろ向き調査)について共同研究者から意見を求めるとともに、今後の新たな介入調査のためのアイデアが出されつつあり、循環器系(胸部外科(移植を含む)、内科)の患者を対象とした帰結評価のための項目選定を進めた。有識者の意見を集約するとともに、病棟で看護ケアを展開している看護師の摂食嚥下障害に関する知識や技術を自己評価するツール開発を行い、看護師の能力向上のための基盤づくりの一部を進めた。多職種による展開が必要となるプログラムであることから、段階的に必要な作業を進めた。

本プロジェクトのテーマは、世界的にも先駆的試みであることから、論文や有識者の見解が明確にできないことも多数あり、新たに調査を行う必要性や研究デザインの精選に時間を要している。具体的に調査を依頼する機関選定などの検討を行っているが、世界的な感染症によりフィールドワークに制限がかかっていることから、進行が遅れている。現在の一般病院における摂食嚥下障害看護認定看護師の現状や高度実践看護師などを整理するとともに、文献レビューの結果について公表をする準備を進めている。さらに、今後、臨床における有識者の意見(Expert Opinion)も踏まえながら、プログラム開発を完成させる必要性がある。米国への視察等によって循環器系疾患患者への医療体制を広く把握し、慎重に研究のデザインを練ってきたかきもあり、概ね研究の骨格を形作り、具体的な調査に向けての準備を整えることができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計130件（うち査読付論文 85件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 20件）

1. 著者名 Arikawa E, Kaneko N, Nohara K, Tanaka N, Mitsuyama M, Sakai T.	4. 巻 64(4)
2. 論文標題 Influence of gustatory and olfactory functions on appetite and nutritional status in older persons	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Oral Science	6. 最初と最後の頁 319-321
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2334/josnusd.22-0064	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tanaka N, Nohara K, Uota C, Fujii N, Obana A, Tanaka K, Sakai T.	4. 巻 22
2. 論文標題 Relationship between daily swallowing frequency and pneumonia in patients with severe cerebral palsy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Pediatrics volume 22	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12887-022-03547-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Isomura ET, Matsukawa M, Yokota Y, Tanaka N, Sugiyama C, Nohara K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clinical application of endoscopic soft palate augmentation in the treatment of velopharyngeal insufficiency	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Oral Maxillofac Surg	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.ijom.2023.01.003	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Sugiura S, Ueda A, Fujii N, Nohara K, Watanabe S, Obara M, Tomita T.	4. 巻 104(1/2)
2. 論文標題 A case of patient with dysphagia experienced separation of tablet from deglutition aid jelly in the larynx	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Pharmacometrics	6. 最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野原幹司	4. 巻 28(2)
2. 論文標題 嚥下機能に影響を及ぼす薬剤 口からはじめる薬学的管理	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 調剤と情報	6. 最初と最後の頁 51-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野原幹司	4. 巻 75(5)
2. 論文標題 歯科が行うポリファーマシー対策～薬剤性嚥下障害への対応	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本歯科医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 379-385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野原幹司	4. 巻 141(3)
2. 論文標題 巻頭Topic 歯科における薬剤性嚥下障害への視点	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 歯界展望	6. 最初と最後の頁 429-432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama E, Tohara H, Sato M, Hino H, Sakai M, Nagashima Y, Kimura M, Watanabe M, Ooshima M.	4. 巻 99(5)
2. 論文標題 Time course and recovery of the movements of hyoid bone and thyroid cartilage during swallowing in a patient with sarcopenic dysphagia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 e64-e67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/PHM.0000000000001211	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama E, Tohara H, Sato M, Abe K, Kimura M, Watanabe M, Iida M, Ueda K.	4. 巻 63(1)
2. 論文標題 Relationship between oral intake level and oral health assessment tool scores in the convalescent ward	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Oral Sci.	6. 最初と最後の頁 79-82.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松山明子, 川村三希子, 小島悦子, 山田律子	4. 巻 42
2. 論文標題 認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおける看護実践自己評価尺度の開発	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本看護科学学会誌	6. 最初と最後の頁 27-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 船橋久美子, 山田律子	4. 巻 27
2. 論文標題 大腿骨近位部骨折高齢者の周術期における歩行再獲得に影響を及ぼす要因	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 老年看護学	6. 最初と最後の頁 56-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 34
2. 論文標題 認知症高齢者のComfort Feedingを目指して(巻頭言)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 107-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉由美	4. 巻 74(7)
2. 論文標題 シンポジウム1: 「がん治療における口腔ケア」看護師によるがん患者への口腔ケアのポイント	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医療	6. 最初と最後の頁 325-332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chantaramanee A, Nakagawa K, Yoshimi K, Nakane A, Yamaguchi K, Tohara H.	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Comparison of Tongue Characteristics Classified According to Ultrasonographic Features Using a K-Means Clustering Algorithm.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Diagnostics	6. 最初と最後の頁 264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/diagnostics12020264	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi K, Nakagawa K, Yoshimi K, Ariya C, Nakane A, Okumura T, Tohara H.	4. 巻 37
2. 論文標題 The Cross-Sectional Area of the Middle and Base of the Tongue is Associated with Swallowing-Related Muscle Strength.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Dysphagia	6. 最初と最後の頁 1723-1731
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00455-022-10431-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wakasugi Y, Susa C, Murata S, Aida J, Sasaki J, Furuya J, Tohara H.	4. 巻 7(2)
2. 論文標題 Factors affecting hospitalization and death of older patients who need long-term care -the necessity of the support for dysphagia in home dental care-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Geriatrics (Basel)	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/geriatrics7020037.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishii M, Nakagawa K, Yoshimi K, Okumura T, Hasegawa S, Yamaguchi K, Nakane A, Tamai T, Nagasawa Y, Yoshizawa A, Tohara H.	4. 巻 69(1)
2. 論文標題 Time Spent Away from Bed to Maintain Swallowing Function in Older Adults.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gerontology	6. 最初と最後の頁 37-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000522499.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki H, Furuya J, Matsubara C, Aoyagi M, Shirobe M, Sato Y, Tohara H, Minakuchi S.	4. 巻 19(13)
2. 論文標題 Comparison of the Amount of Used and the Ease of Oral Care between Liquid and Gel-Type Oral Moisturizers Used with an Oral Care Simulators.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 8158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19138158.PMID: 35805817	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki H, Furuya J, Nakagawa K, Hidaka R, Nakane A, Yoshimi K, Shimizu Y, Saito K, Itsui Y, Tohara H, Sato Y, Minakuchi S.	4. 巻 19(16)
2. 論文標題 Changes in nutrition-intake method and oral health through a multidisciplinary team approach in malnourished older patients admitted to an acute care hospital.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 9784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19169784	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakane A, Nakagawa K, Yamaguchi K, Yoshimi K, Hara Y, Tohara H.	4. 巻 19(16)
2. 論文標題 Cough Test Results during Screening for Silent Aspiration Are Affected by Risk Factors for Silent Cerebral Infarct in Older Adults with Chronic Disease.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J. Environ. Res. Public Health	6. 最初と最後の頁 10202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph191610202	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Namiki C, Hara K, Yanagida R, Nakagawa K, Yamaguchi K, Okumura T, Tamai T, Kurosawa Y, Komatsu T, Tohara H.	4. 巻 19(16)
2. 論文標題 Association between Tongue Pressure and Jaw-Opening Force in Older Adults.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 9825
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19169825	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamai T, Hara K, Nakagawa K, Namiki C, Yamaguchi K, Yoshimi K, Yanagida R, Hasegawa S, Nakane A, Okumura T, Ishii M, Tohara H.	4. 巻 22(9)
2. 論文標題 Strength and morphology of a suprahyoid muscle and their relationship to forward head posture in healthy older adults.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 779-784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14457	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima M, Yoshimi K, Nakagawa K, Yamaguchi K, Ishii M, Hasegawa S, Moritoyo R, Nakane A, Tohara H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Usefulness and Validity of a Jaw-Closing Force Meter in Older Adults.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Geriatrics	6. 最初と最後の頁 145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/geriatrics7060145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi K, Nakagawa K, Yoshimi K, Ariya C, Nakane A, Ishii M, Hasegawa S, Tohara H.	4. 巻 14
2. 論文標題 Associations of swallowing-related muscle quantity and quality with sarcopenic parameters	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Eur Geriatr Med.	6. 最初と最後の頁 195-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41999-023-00747-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yanagida R, Hara K, Namiki C, Okumura T, Saiki A, Nakagawa K, Yamaguchi K, Yoshimi K, Nakane A, Mauclaire JM, Tohara H.	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 Effects of tongue right positioner use on tongue pressure: a pilot study.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 3289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-30450-0.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa K, Yoshimi K, Yoshizawa A, Aritaki K, Yamaguchi K, Nakane A, Tohara H.	4. 巻 19
2. 論文標題 The Safety of Oral Rehydration Solution Jelly for Water and Electrolyte Intake in Patients with Dysphagia.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Ther Clin Risk Manag.	6. 最初と最後の頁 219-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/TCRM.S398281.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takano S, Yamaguchi K, Nakagawa K, Yoshimi K, Nakane A, Okumura T, Tohara H.	4. 巻 11
2. 論文標題 Effect of isometric exercises on the masseter muscle in older adults with missing dentition: a randomized controlled trial.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1~8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-86807-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Wakabayashi H, Ogawa N, Fujishima I, Oshima F, Itoda M, Kunieda K, Shigematsu T, Nishioka S, Tohara H, Yamada M, Ogawa S.	4. 巻 25
2. 論文標題 The Mass of Geniohyoid Muscle Is Associated with Maximum Tongue Pressure and Tongue Area in Patients with Sarcopenic Dysphagia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The journal of nutrition, health & aging	6. 最初と最後の頁 356~360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-020-1528-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hatasa M, Ohsugi Y, Katagiri S, Yoshida S, Niimi H, Morita K, Tsuchiya Y, Shimohira T, Sasaki N, Maekawa S, Shiba T, Hirota T, Tohara H, Takahashi H, Nitta H, Iwata T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Endotoxemia by Porphyromonas gingivalis Alters Endocrine Functions in Brown Adipose Tissue	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	6. 最初と最後の頁 1~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2020.580577	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hara Y, Nakane A, Tohara H, Kubota K, Nakagawa K, Hara K, Yamaguchi K, Yoshimi K, Minakuchi S.	4. 巻 Volume 15
2. 論文標題 Cervical Interferential Current Transcutaneous Electrical Sensory Stimulation for Patients with Dysphagia and Dementia in Nursing Homes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Interventions in Aging	6. 最初と最後の頁 2431~2437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/CIA.S274968	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura A, Yamaguchi K, Ariya C, Totoki H, Tohara H.	4. 巻 41
2. 論文標題 Dysphagia in a persistently vegetative patient improved by orthodontic treatment of severe dental misalignment	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Special Care in Dentistry	6. 最初と最後の頁 271~276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/scd.12556	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa N, Wakabayashi H, Mori T, Fujishima I, Oshima F, Itoda M, Kunieda K, Shigematsu T, Nishioka S, Tohara H, Ohno T, Nomoto A, Shimizu A, Yamada M, Ogawa S.	4. 巻 21
2. 論文標題 Digastric muscle mass and intensity in older patients with sarcopenic dysphagia by ultrasonography	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 14~19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi K, Hara K, Nakagawa K, Yoshimi K, Ariya C, Nakane A, Furuya J, Tohara H.	4. 巻 22
2. 論文標題 Ultrasonography Shows Age-related Changes and Related Factors in the Tongue and Suprahyoid Muscles	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the American Medical Directors Association	6. 最初と最後の頁 766 ~ 772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jamda.2020.10.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama E, Tohara H, Sato M, Abe K, Kimura M, Watanabe M, Iida M, Ueda K.	4. 巻 63
2. 論文標題 Relationship between oral intake level and oral health assessment tool scores in the convalescent ward	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Oral Science	6. 最初と最後の頁 79 ~ 82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2334/josnugd.20-0414	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furuya J, Beniya A, Suzuki H, Hidaka R, Matsubara C, Obana M, Yoshimi K, Yamaguchi K, Hara K, Nakagawa K, Nakane A, Tohara H, Minakuchi S.	4. 巻 47
2. 論文標題 Factors associated with the number of microorganisms on the tongue surface in patients following acute stroke	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Oral Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 1403 ~ 1410
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.13074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miura Y, Nakagami G, Tohara H, Ogawa N, Sanada H.	4. 巻 22
2. 論文標題 The association between jaw-opening strength, geniohyoid muscle thickness and echo intensity measured by ultrasound	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Medical Ultrasonography	6. 最初と最後の頁 299 ~ 299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11152/mu-2317	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hara K, Namiki C, Yamaguchi K, Kobayashi K, Saito T, Nakagawa K, Ishii M, Okumura T, Tohara H.	4. 巻 47
2. 論文標題 Association between myotonometric measurement of masseter muscle stiffness and maximum bite force in healthy elders	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Oral Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 750 ~ 756
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12968	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai K, Nakayama E, Rogus-Pulia N, Takehisa T, Takehisa Y, Urayama Kevin Y, Takahashi O.	4. 巻 Volume 15
2. 論文標題 Submental Muscle Activity and Its Role in Diagnosing Sarcopenic Dysphagia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Interventions in Aging	6. 最初と最後の頁 1991 ~ 1999
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/CIA.S278793	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ideta Y, Iwai T, Sugiyama S, Ohashi N, Kitajima H, Yajjima Y, Hirota M, Mitsudo K.	4. 巻 33
2. 論文標題 Endoscopically-assisted intraoral removal of submandibular gland mucocele	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	6. 最初と最後の頁 161 ~ 164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajoms.2020.09.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishikawa S, Iwai To, Sugiyama S, Ohashi N, Kitajima H, Hirota, Yamanaka S, Mitsudo K.	4. 巻 33
2. 論文標題 Submandibular gland venous malformation with multiple phleboliths	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	6. 最初と最後の頁 183 ~ 187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajoms.2020.10.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohashi N, Iwai T, Nakamori Y, Iida M, Osawa K, Sugiyama S, Kitajima H, Minamiyama Shuhei, Yamanaka Shoji, Shiba Norio, Mitsudo Kenji	4. 巻 33
2. 論文標題 Sporadic Burkitt lymphoma initially presented as orofacial manifestations in an 8-year-old boy: A case report and mini-review	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	6. 最初と最後の頁 204 ~ 210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajoms.2020.08.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeda A, Iwai T, Sugiyama S, Ohashi N, Kitajima H, Yajima Y, Hirota M, Mitsudo K.	4. 巻 32
2. 論文標題 Image-guided removal of deeply impacted mandibular third molar using a navigation system	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	6. 最初と最後の頁 529 ~ 533
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajoms.2020.07.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohashi N, Iwai T, Ogawa M, Yokoo S, Mitsudo K.	4. 巻 10
2. 論文標題 Malignant Transformation of Buccal Mucosa Leukoplakia in a Patient With Dyskeratosis Congenita.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ear, Nose & Throat Journal	6. 最初と最後の頁 1 ~ 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0145561320938908	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwai T, Ohashi N, Sugiyama S, Kitajima H, Hirota M, Yamanaka S, Mitsudo K.	4. 巻 37
2. 論文標題 Actinomycotic osteomyelitis with proliferative periostitis arising in the mandibular ramus: an unusual case with spontaneous bone regeneration after coronoidectomy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oral Radiology	6. 最初と最後の頁 137 ~ 145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11282-020-00462-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Utsumi K, Fukatsu R, Yamada R, Takamaru Y, Hara Y, Yasumura S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Characteristics of initial symptoms and symptoms at diagnosis in probable dementia with Lewy body disease: incidence of symptoms and gender differences	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 737 ~ 745
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12586	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka N, Nohara K, Ueda A, Katayama T, Ushio M, Fujii N, Sakai T.	4. 巻 19
2. 論文標題 Effect of aspiration on the lungs in children: a comparison using chest computed tomography findings	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Pediatrics	6. 最初と最後の頁 1 ~ 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12887-019-1531-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Motokawa K, Yasuda J, Mikami Y, Edahiro A, Morishita S, Shirobe M, Ohara Y, Nohara K, Hirano H, Watanabe Y.	4. 巻 86
2. 論文標題 The Mini Nutritional Assessment-Short Form as a predictor of nursing home mortality in Japan: A 30-month longitudinal study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103954 ~ 103954
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103954	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumura E, Nohara K, Tanaka N, Fujii N, Sakai T.	4. 巻 62
2. 論文標題 A survey on medications received by elderly persons with dysphagia living at home or in a nursing home	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Oral Science	6. 最初と最後の頁 239 ~ 241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2334/josnusd.19-0370	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Arikawa E, Kaneko N, Nohara K, Yamaguchi T, Mitsuyama M, Sakai T.	4. 巻 24
2. 論文標題 Influence of Olfactory Function on Appetite and Nutritional Status in the Elderly Requiring Nursing Care	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The journal of nutrition, health & aging	6. 最初と最後の頁 398 ~ 403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-020-1334-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiba Y, Nohara K, Tanaka N, Fujii N, Fukatsu H, Kaneko N, Mitsuyama M, Sakai T.	4. 巻 34
2. 論文標題 Comparison of Saccharin Time in Nursing Home Residents With and Without Pneumonia: A Preliminary Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 In Vivo	6. 最初と最後の頁 845 ~ 848
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21873/invivo.11847	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Araie T, Ono Minagi H, Usami Y, Ikai K, Sakai M, Gojo N, Nohara K, Sakai T.	4. 巻 17
2. 論文標題 Effect of xanthan gum thickened liquid aspiration on the lungs in a mouse model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Oral Science International	6. 最初と最後の頁 78 ~ 85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/osi2.1047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kera T, Kawai H, Hirano Hi, Kojima M, Watanabe Y, Motokawa K, Fujiwara Y, Ihara K, Kim H, Obuchi S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Definition of Respiratory Sarcopenia With Peak Expiratory Flow Rate	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the American Medical Directors Association	6. 最初と最後の頁 1021 ~ 1025
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jamda.2018.12.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Yo, Ueda T, Watanabe Y, Takano T, Edahiro A, Awata S, Sakurai K.	4. 巻 81
2. 論文標題 Relationship between mild cognitive decline and oral motor functions in metropolitan community-dwelling older Japanese: The Takashimadaira study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 53 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2018.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai R, Kawai H, Suzuki H, Ogawa S, Kim H, Watanabe Y, Hirano H, Ihara K, Obuchi S, Fujiwara Y.	4. 巻 29
2. 論文標題 An Epidemiological Study of the Risk Factors of Bicycle-Related Falls Among Japanese Older Adults	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 487 ~ 490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180162	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi K, Watanabe Y, Kugimiya Y, Shirobe M, Edahiro A, Kaneda K, Hasegawa Y, Ito M, Hirano H, Sakurai K, Ono T, Inagaki H, Awata S, Kawai Y.	4. 巻 46
2. 論文標題 Validity of a visual scoring method using gummy jelly for evaluating chewing efficiency in a large scale epidemiological survey	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Oral Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 409 ~ 416
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi K, Watanabe Y, Kawai H, Motokawa K, Umeki K, Ito M, Kera T, Kojima Mo, Ihara K, Fujiwara Y, Kim H, Obuchi S, Hirano H, Kawai Y.	4. 巻 61
2. 論文標題 Relation between knee extension torque and occlusal force in community-dwelling elderly adults	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Oral Science	6. 最初と最後の頁 508 ~ 511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2334/josnurd.18-0381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Y, Watanabe Y, Osuka Y, Kitamura A, Seino S, Kim H, Kawai H, Sakurai R, Inagaki H, Awata S, Shinkai S.	4. 巻 14
2. 論文標題 Characteristics for gait parameters of community-dwelling elderly Japanese with lower cognitive function	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0212646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0212646	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai R, Kawai H, Suzuki H, Kim H, Watanabe Y, Hirano H, Ihara K, Obuchi S, Fujiwara Y.	4. 巻 20
2. 論文標題 Poor Social Network, Not Living Alone, Is Associated With Incidence of Adverse Health Outcomes in Older Adults	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the American Medical Directors Association	6. 最初と最後の頁 1438 ~ 1443
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jamda.2019.02.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito K, Edahiro A, Watanabe Y, Ohara Y, Motohashi Y, Morishita S, Motokawa K, Watanabe Y, Hirano H, Inoue M.	4. 巻 46(8)
2. 論文標題 Qualitative analysis of the vocabulary used in work logs of a preventive programme for elderly oral function and nutrition	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Oral Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 723 ~ 729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12804	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim H, Awata S, Watanabe Y, Kojima N, Osuka Y, Motokawa K, Sakuma N, Inagaki H, Edahiro A, Hosoi E, Won Chang Won, Shinkai S.	4. 巻 19(7)
2. 論文標題 Cognitive frailty in community dwelling older Japanese people: Prevalence and its association with falls	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 647 ~ 653
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13685	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mikami Y, Watanabe Y, Motokawa K, Shirobe M, Motohashi Y, Edahiro A, Nakajima J, Osuka Y, Inagaki H, Fujiwara Y, Shinkai S, Awata S.	4. 巻 19
2. 論文標題 Association between decrease in frequency of going out and oral function in older adults living in major urban areas	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 792 ~ 797
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13715	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai H, Taniguchi Y, Seino S, Sakurai R, Osuka Y, Obuchi S, Watanabe Y, Kim H, Inagaki H, Kitamura A, Awata S, Shinkai S.	4. 巻 Volume 14
2. 論文標題 Reference values of gait parameters measured with a plantar pressure platform in community-dwelling older Japanese adults	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Interventions in Aging	6. 最初と最後の頁 1265 ~ 1276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/CIA.S213216	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kera T, Kawai H, Hirano H, Kojima M, Watanabe Y, Motokawa K, Fujiwara Y, Ihara K, Kim H, Obuchi S.	4. 巻 19
2. 論文標題 SARC F: A validation study with community dwelling older Japanese adults	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1172 ~ 1178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13768	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai R, Watanabe Y, Osuka Y, Taniguchi Y, Kawai H, Kim H, Kitamura A, Inagaki H, Montero-Odasso M, Awata S, Shinkai S.	4. 巻 11
2. 論文標題 Overlap Between Apolipoprotein E 4 Allele and Slowing Gait Results in Cognitive Impairment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1 ~ 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2019.00247	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ejiri M, Kawai H, Fujiwara Y, Ihara K, Watanabe Y, Hirano H, Kim Hun Kyung, Ishii K, Oka K, Obuchi S.	4. 巻 14
2. 論文標題 Social participation reduces isolation among Japanese older people in urban area: A 3-year longitudinal study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0222887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0222887	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto K, Motokawa K, Yoshizaki T, Yano T, Hirano H, Ohara Y, Shirobe M, Inagaki H, Awata S, Shinkai S, Watanabe Y.	4. 巻 24
2. 論文標題 Association of Dietary Variety and Appetite with Sleep Quality in Urban-Dwelling Older Japanese Adults	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The journal of nutrition, health & aging	6. 最初と最後の頁 152 ~ 159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-019-1297-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Motokawa K, Yasuda J, Mikami Y, Edahiro A, Morishita S, Shirobe M, Ohara Y, Nohara K, Hirano H, Watanabe Y.	4. 巻 86
2. 論文標題 The Mini Nutritional Assessment-Short Form as a predictor of nursing home mortality in Japan: A 30-month longitudinal study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103954 ~ 103954
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103954	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Watanabe Y, Igarashi K, Hoshino D, Motokawa K, Edahiro A, Ueda T, Takano T, Sakurai K, Taniguchi Y, Kitamura A, Nasu I, Shinkai S, Hirano H.	4. 巻 151
2. 論文標題 Factors associated with masticatory performance in community-dwelling older adults	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of the American Dental Association	6. 最初と最後の頁 118 ~ 126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.adaj.2019.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi J, Kawai H, Suzuki H, Fujiwara Y, Watanabe Y, Hirano H, Kim H, Ihara , Miki A, Obuchi S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Development and validity of the Computer Based Cognitive Assessment Tool for intervention in community dwelling older individuals	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 171 ~ 175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13836	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino D, Watanabe Y, Edahiro A, Kugimiya Y, Igarashi K, Motokawa K, Ohara Y, Hirano H, Myers M, Hironaka S, Maruoka Y.	4. 巻 87
2. 論文標題 Association between simple evaluation of eating and swallowing function and mortality among patients with advanced dementia in nursing homes: 1-year prospective cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103969 ~ 103969
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kera T, Kawai H, Hirano H, Kojima M, Watanabe Y, Motokawa K, Fujiwara Y, Osuka Y, Kojima N, Kim H, Ihara K, Obuchi S.	4. 巻 87
2. 論文標題 Limitations of SARC-F in the diagnosis of sarcopenia in community-dwelling older adults	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103959 ~ 103959
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103959	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osuka Y, Kojima N, Sakurai R, Watanabe Y, Kim H.	4. 巻 20
2. 論文標題 Reliability and construct validity of a novel motor?cognitive dual task test: A Stepping Trail Making Test	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 291 ~ 296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13878	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohara Y, Motokawa K, Watanabe Y, Shirobe M, Inagaki H, Motohashi Y, Edahiro A, Hirano H, Kitamura A, Awata S, Shinkai S.	4. 巻 87
2. 論文標題 Association of eating alone with oral frailty among community-dwelling older adults in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 104014 ~ 104014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2020.104014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Watanabe Y, Ueda Ta, Motokawa K, Shirobe M, Igarashi K, Hoshino D, Takano T, Sakurai K, Taniguchi Y, Kitamura A, Shinkai S, Hirano H.	4. 巻 37
2. 論文標題 Rate of oral frailty and oral hypofunction in rural community dwelling older Japanese individuals.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Gerodontology	6. 最初と最後の頁 342 ~ 352
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ger.12468	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Y, Osawa K, Nakakaji R, Minamiyama S, Ohashi N, Ohya T, Iida M, Iwai T, Ozawa T, Oguri S, Koizumi T, Hirota M, Kioi M, Hata M, Mitsudo K.	4. 巻 41
2. 論文標題 Prognostic factors and treatment outcomes of advanced maxillary gingival squamous cell carcinoma treated by intra arterial infusion chemotherapy concurrent with radiotherapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Head & Neck	6. 最初と最後の頁 1777 ~ 1784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hed.25607	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野原 幹司	4. 巻 28
2. 論文標題 嚥下からみた誤嚥性肺炎の予防と対策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	6. 最初と最後の頁 179 ~ 185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15032/jsrscr.28.2_179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三鬼達人, 千葉由美	4. 巻 65(10)
2. 論文標題 第1特集 がん治療中の「食」を支える! 栄養管理と食支援の実践 Part2 食事・栄養に関するアセスメント- 口腔状態のアセスメントのポイント	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 看護技術	6. 最初と最後の頁 1014-1017
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉由美	4. 巻 22(1)
2. 論文標題 在宅療養者に対する摂食嚥下機能の評価と実践のポイント.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本在宅ケア学会誌	6. 最初と最後の頁 13-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohashi N, Iwai T, Tohara H, Chiba Y, Oguri A, Koizumi T, Mitsudo K, Tonai I.	4. 巻 -
2. 論文標題 Swallowing function in advanced tongue cancer patients before and after bilateral neck dissection following superselective intra-arterial chemoradiotherapy for organ preservation: a case control study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oral Radiology	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11282-018-0341-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mitsudo K, Hayashi Y, Minamiyama S, Ohashi N, Iida M, Iwai T, Oguri S, Koizumi T, Kioi M, Hirota M, Koike I, Hata M, Tohnai I	4. 巻 79
2. 論文標題 Chemoradiotherapy using retrograde superselective intra-arterial infusion for tongue cancer: Analysis of therapeutic results in 118 cases.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oral oncology	6. 最初と最後の頁 71-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.oraloncology.2018.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama S, Iwai T, Ohashi N, Oguri S, Hirota M, Mitsudo K	4. 巻 14
2. 論文標題 Airway obstruction caused by pharyngolaryngeal swelling after intraoral removal of a submandibular gland stone.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Therapeutics and clinical risk management	6. 最初と最後の頁 2323-2325
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/TCRM.S180797	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hara K, Tohara H, Kobayashi K, Yamaguchi K, Chantaramanee A, Yoshimi K, Nakane A, Minakuchi S.	4. 巻 46(2)
2. 論文標題 Association between tongue muscle strength and masticatory muscle strength.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Oral Rehabil.	6. 最初と最後の頁 134-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimi K, Hara K, Tohara H, Nakane A, Nakagawa K, Yamaguchi K, Kurosawa Y, Yoshida S, Ariya S, Minakuchi S.	4. 巻 79
2. 論文標題 Relationship between swallowing muscles and trunk muscle mass in healthy elderly individuals: a cross-sectional study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2018.07.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yatabe N, Takeuchi K, Izumi M, Furuta M, Takeshita T, Shibata Y, Suma S, Kageyama S, Ganaha S, Tohara H, Yamashita Y.	4. 巻 35(4)
2. 論文標題 Decreased cognitive function is associated with dysphagia risk in nursing home older residents.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gerodontology	6. 最初と最後の頁 376-381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ger.12366	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hara K, Tohara H, Minakuchi S.	4. 巻 54(4)
2. 論文標題 Treatment and Evaluation of Dysphagia Rehabilitation Especially on Suprahyoid Muscles as Jaw-opening Muscles.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Jpn Dent Sci Rev	6. 最初と最後の頁 151-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jdsr.2018.06.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miura Y, Nakagami G, Yabunaka K, Tohara H, Noguchi H, Mori T, Sanada H.	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 A randomized controlled trial to investigate the effectiveness of the prevention of aspiration pneumonia using recommendations for swallowing care guided by ultrasound examination.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Healthcare, Healthcare (Basel)	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamiyanagi A, Sumita Y, Ino S, Chikai M, Nakane A, Tohara H, Minakuchi S, Seki Y, Endo H, Taniguchi H	4. 巻 45(2)
2. 論文標題 Evaluation of swallowing ability using swallowing sounds in maxillectomy patients.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Oral Rehabil	6. 最初と最後の頁 126-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12593	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 226
2. 論文標題 認知症高齢者の食べる喜びを支える看護の実際	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medical Rehabilitation MB	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 22(1)
2. 論文標題 認知症者の「食べること」を支える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本在宅ケア学会誌	6. 最初と最後の頁 29-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田律子	4. 巻 29(1)
2. 論文標題 最期までその人らしく生きることを多職種で共に支えるには～認知症高齢者の食支援を通して考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ベストナース	6. 最初と最後の頁 51-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto M, Watanabe Y, Edahiro A, Motokawa K, Shirobe M, Hirano H, Ito K, Kanehisa Y, Yamada R, Yoshihara A.	4. 巻 23(2)
2. 論文標題 Self-Feeding Ability as a Predictor of Mortality Japanese Nursing Home Residents : A Two-Year Longitudinal Study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Nutr Health Aging	6. 最初と最後の頁 157-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-018-1125-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川添恵理子, 安部博史, 三国久美, 山田律子, 石角鈴華	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 医療系総合大学の多職種連携教育が看護学生の多職種連携コンピテンシーに及ぼす効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 北海道医療大学看護福祉学部会誌	6. 最初と最後の頁 3-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueha R, Nativ-Zeltzer N, Sato T, Goto T, Nito T, Belafsky PC, Yamasoba T.	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 Acute inflammatory response to contrast agent aspiration and its mechanisms in the rat lung.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Laryngoscope	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lary.27663	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueha R, Goto T, Sato T, Nativ-Zeltzer N, Shen SC, Nito T, Belafsky PC, Yamasoba T.	4. 巻 5
2. 論文標題 High Resolution Manofluorographic Study in Patients With Multiple System Atrophy: Possible Early Detection of Upper Esophageal Sphincter and Proximal Esophageal Abnormality.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Med (Lausanne)	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmed.2018.00286	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaneoka A, Yang S, Inokuchi H, Ueha R, Yamashita H, Nito T, Seto Y, Haga N.	4. 巻 31
2. 論文標題 Presentation of oropharyngeal dysphagia and rehabilitative intervention following esophagectomy: a systematic review.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dis Esophagus	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/dote/doy050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaneoka A, Pisegna JM, Inokuchi H, Ueha R, Goto T, Nito T, Stepp CE, LaValley MP, Haga N, Langmore SE.	4. 巻 33
2. 論文標題 Relationship Between Laryngeal Sensory Deficits, Aspiration, and Pneumonia in Patients with Dysphagia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dysphagia	6. 最初と最後の頁 192-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00455-017-9845-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kera T, Kawai H, Hirano H, Kojima M, Watanabe Y, Fujiwara Y, Ihara K, Obuchi S.	4. 巻 18(7)
2. 論文標題 Comparison of body composition and physical and cognitive function between older Japanese adults with no diabetes, prediabetes and diabetes: A cross-sectional study in community-dwelling Japanese older people.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int	6. 最初と最後の頁 1031-1037
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suma S, Watanabe Y, Hirano H, Kimura A, Edahiro A, Awata S, Yamashita Y, Matsushita K, Arai H, Sakurai T.	4. 巻 18(8)
2. 論文標題 Factors affecting the appetites of persons with Alzheimer's disease and mild cognitive impairment.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 1236-1243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13455	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Ueda T, Watanabe Y, Takano T, Edahiro A, Awata S, Sakurai K.	4. 巻 81
2. 論文標題 Relationship between Mild Cognitive Decline and Oral Motor Functions in Metropolitan Community-Dwelling Older Japanese: The Takashimadaira Study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriat	6. 最初と最後の頁 53-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2018.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kera T, Kawai H, Hirano H, Kojima M, Watanabe Y, Motokawa K, Fujiwara Y, Ihara K, Kim H, Obuchi S.	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 Definition of respiratory sarcopenia with peak expiratory flow.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Am Med Dir Assoc	6. 最初と最後の頁 S1525-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jamda.2018.12.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊裕	4. 巻 56(8)
2. 論文標題 高齢者の口腔機能-オーラルフレイル-】高齢者の口腔機能およびオーラルフレイルに関する現状と今後の展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatric Medicine(0387-1088)	6. 最初と最後の頁 711-714
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉由美、山田律子、市村久美子	4. 巻 22(1)
2. 論文標題 病床機能別にみた摂食嚥下障害を有する高齢入院患者への支援体制と研修ニーズとの関係	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 老年看護学	6. 最初と最後の頁 22-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Minegishi S, Ishigami T*, Kawamura H, Kino T, Doi H, Nakashima-Sasaki R, Chen L, Azushima K, Wakui H, Chiba Y, Tamura K	4. 巻 18(6)
2. 論文標題 An isoform of Nedd4-2 plays a pivotal role in electrophysiological cardiac abnormalities.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms18061268	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉由美、山田律子、本村美和、田中久美	4. 巻 63(3)
2. 論文標題 行動障害ごとの認知症高齢者への食事介助の実際	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 看護技術	6. 最初と最後の頁 30-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉由美, 本村美和, 田中久美, 市村久美子	4. 巻 63(3)
2. 論文標題 行動障害の内容別にみた原因と徴候・アセスメント	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 看護技術	6. 最初と最後の頁 17-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉由美, 本村美和, 田中久美, 市村久美子	4. 巻 63(3)
2. 論文標題 認知症高齢者の食事に関するアセスメントポイント	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 看護技術	6. 最初と最後の頁 9-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉由美, 山田律子, 北川公子	4. 巻 22(2)
2. 論文標題 高齢者における胃ろう離脱のためのケアプロトコル構成項目の理解度評価指標の信頼性・妥当性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 老年看護学	6. 最初と最後の頁 60-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura M, Konishi M, Saigusa Y, Ando S, Nakayama M, Komura N, Sugano T, Tamura K, Nakamura T	4. 巻 37(11)
2. 論文標題 Impact of grip strength and gait speed on exercise tolerance in patients with pulmonary hypertension without left heart disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Heart Vessels	6. 最初と最後の頁 1928-1936
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00380-022-02091-2	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ozaki K, Nosaka N, Wakabayashi K, Tohara H	4. 巻 -
2. 論文標題 Intensive Care Education for Dental Students through Online Visits to ICU Rounds.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 J Dent Educ.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jdd.13211	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa K, Yoshimi K, Yoshizawa A, Aritaki K, Yamaguchi K, Nakane A, Tohara H	4. 巻 19
2. 論文標題 The Safety of Oral Rehydration Solution Jelly for Water and Electrolyte Intake in Patients with Dysphagia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Ther Clin Risk Manag.	6. 最初と最後の頁 :219-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/TCRM.S398281	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yanagida R, Hara K, Namiki C, Okumura T, Saiki A, Nakagawa K, Yamaguchi K, Yoshimi K, Nakane A, Mauclair JM, Tohara H	4. 巻 13(1)
2. 論文標題 Effects of tongue right positioner use on tongue pressure: a pilot study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 3289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-30450-0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi K, Nakagawa K, Yoshimi K, Ariya C, Nakane A, Ishii M, Hasegawa S, Tohara H	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Associations of swallowing-related muscle quantity and quality with sarcopenic parameters	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Eur Geriatr Med.	6. 最初と最後の頁 195-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41999-023-00747-4	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saiki A, Yoshimi K, Nakagawa K, Nagasawa Y, Yoshizawa A, Yanagida R, Yamaguchi K, Nakane A, Maeda K, Tohara H	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Effects of thickened carbonated cola in older patients with dysphagia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 22151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-25926-4	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizawa A, Nakagawa K, Yoshimi K, Hashimoto M, Aritaki K, Ishii M, Yamaguchi K, Nakane A, Kawabata A, Hirai T, Yoshii T, Ikeda M, Okawa A, Tohara H	4. 巻 23(4)
2. 論文標題 Analysis of swallowing function after anterior/posterior surgery for cervical degenerative disorders and factors related to the occurrence of postoperative dysphagia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Spine J.	6. 最初と最後の頁 513-522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.spinee.2022.12.010	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mina Kawashima, Kanako Yoshimi, Kazuharu Nakagawa, Kohei Yamaguchi, Miki Ishii, Shohei Hasegawa, Rieko Moritoyo, Ayako Nakane, Haruka Tohara	4. 巻 19;7(6)
2. 論文標題 Usefulness and Validity of a Jaw-Closing Force Meter in Older Adults	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Geriatrics	6. 最初と最後の頁 145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/geriatrics7060145	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Nagasawa, Sayaka Katagiri, Kazuharu Nakagawa, Tomomitsu Hirota, Kanako Yoshimi, Aritoshi Uchida, Masahiro Hatasa, Keiji Komatsu, Takahiko Shiba, Yujin Ohsugi, Naofumi Uesaka, Takanori Iwata, Haruka Tohara	4. 巻 99
2. 論文標題 Xanthan gum-based fluid thickener decreases postprandial blood glucose associated with increase of Glp1 and Glp1r expression in ileum and alteration of gut microbiome	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Functional Foods	6. 最初と最後の頁 105321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jff.2022.105321	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamai T, Hara K, Nakagawa K, Namiki C, Yamaguchi K, Yoshimi K, Yanagida R, Hasegawa S, Nakane A, Okumura T, Ishii M, Tohara H	4. 巻 22(9)
2. 論文標題 Strength and morphology of a suprahyoid muscle and their relationship to forward head posture in healthy older adults	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 779-784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14457	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Namiki C, Hara K, Yanagida R, Nakagawa K, Yamaguchi K, Okumura T, Tamai T, Kurosawa Y, Komatsu T, Tohara H.	4. 巻 19(16)
2. 論文標題 Association between Tongue Pressure and Jaw-Opening Force in Older Adults	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health.	6. 最初と最後の頁 9825
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19169825	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakane A, Nakagawa K, Yamaguchi K, Yoshimi K, Hara Y, Tohara H.	4. 巻 19(16)
2. 論文標題 Cough Test Results during Screening for Silent Aspiration Are Affected by Risk Factors for Silent Cerebral Infarct in Older Adults with Chronic Disease, Int. J. Environ Res. Public Health	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Res. Public Health	6. 最初と最後の頁 10202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph191610202	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki H, Furuya J, Nakagawa K, Hidaka R, Nakane A, Yoshimi K, Shimizu Y, Saito K, Itsui Y, Tohara H, Sato Y, Minakuchi S.	4. 巻 19(16)
2. 論文標題 Changes in nutrition-intake method and oral health through a multidisciplinary team approach in malnourished older patients admitted to an acute care hospital	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health.	6. 最初と最後の頁 9784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19169784	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ozaki K, Teranaka S, Tohara H, Minakuchi S, Komatsumoto S.	4. 巻 2022
2. 論文標題 Oral Management by a Full-Time Resident Dentist in the Hospital Ward Reduces the Incidence of Pneumonia in Patients with Acute Stroke	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Dentistry	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2022/6193818	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki H, Furuya J, Matsubara C, Aoyagi M, Shirobe M, Sato Y, Tohara H, Minakuchi S	4. 巻 19(13)
2. 論文標題 Comparison of the Amount of Used and the Ease of Oral Care between Liquid and Gel-Type Oral Moisturizers Used with an Oral Care Simulators	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health.	6. 最初と最後の頁 8158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19138158	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi K, Nakagawa K, Yoshimi K, Ariya C, Nakane A, Okumura T, Tohara H	4. 巻 67(2)
2. 論文標題 Higher extracellular water/total body water ratio is associated with lower tongue and grip strength: a cross-sectional study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Prosthodont Res.	6. 最初と最後の頁 231-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2186/jpr.JPR_D_21_00296	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura A, Yamaguchi K, Yanagida R, Miyata R, Tohara H.	4. 巻 19(9)
2. 論文標題 At-Home Orthodontic Treatment for Severe Teeth Arch Malalignment and Severe Obstructive Sleep Apnea Syndrome in a Child with Cerebral Palsy	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int. J. Environ. Res. Public Health	6. 最初と最後の頁 5333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19095333	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishii M, Nakagawa K, Yoshimi K, Okumura T, Hasegawa S, Yamaguchi K, Nakane A, Tamai T, Nagasawa Y, Yoshizawa A, Tohara H	4. 巻 69(1)
2. 論文標題 Time Spent Away from Bed to Maintain Swallowing Function in Older Adults	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gerontology	6. 最初と最後の頁 37-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000522499	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furuya J, Suzuki H, Hidaka R, Matsubara C, Motomatsu Y, Kabasawa Y, Tohara H, Sato Y, Miyake S, Minakuchi S	4. 巻 30(7)
2. 論文標題 Association between oral health and advisability of oral feeding in advanced cancer patients receiving palliative care: a cross-sectional study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Support Care Cancer	6. 最初と最後の頁 5779-5788
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00520-022-06984-w	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wakasugi Y, Susa C, Murata S, Aida J, Sasaki J, Furuya J, Tohara H.	4. 巻 7(2)
2. 論文標題 Factors affecting hospitalization and death of older patients who need long-term care -the necessity of the support for dysphagia in home dental care-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Geriatrics (Basel)	6. 最初と最後の頁 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/geriatrics7020037	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi K, Nakagawa K, Yoshimi K, Ariya C, Nakane A, Okumura T, Tohara H	4. 巻 37
2. 論文標題 The Cross-Sectional Area of the Middle and Base of the Tongue is Associated with Swallowing-Related Muscle Strength	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Dysphagia	6. 最初と最後の頁 1723-1731
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00455-022-10431-7	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ariya Chantaramanee, Nakagawa K, Yoshimi K, Nakane A, Yamaguchi K, Tohara H.	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Comparison of Tongue Characteristics Classified According to Ultrasonographic Features Using a K-Means Clustering Algorithm	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Diagnostics	6. 最初と最後の頁 264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/diagnostics12020264	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yanagida R, Hara K, Iida T, Tohara T, Tamada Y, Minakuchi S, Namiki C, Okumura T, Tohara H	4. 巻 68(11)
2. 論文標題 Jaw-Opening Force as a Useful Index for Dysphagia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 A Cross-Sectional and Multi-Institutional Study. Gerontology	6. 最初と最後の頁 1258-1265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000521392	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計74件（うち招待講演 22件 / うち国際学会 6件）

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 教育講演「摂食嚥下障害のある認知症の人の「食べる喜び」を支えるケア」
3. 学会等名 第23回日本認知症ケア学会大会（WEB開催）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 専門セミナー「認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」
3. 学会等名 CareTEX 札幌'22 専門セミナー（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 市民公開講座「美味しく食べて、生き活きと暮らし続けるために～加齢変化や認知症による影響を踏まえた食生活の工夫～」
3. 学会等名 クロレラ・機能性植物研究会 第4回研究集会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 教育講演「認知症高齢者のエンドオブライフケアにおける環境の支援と調整」
3. 学会等名 日本エンドオブライフケア学会 第5回学術集会(ハイブリッド開催)（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 「摂食嚥下障害のある認知症の人への食事ケア ～脳機能を踏まえて～」
3. 学会等名 北海道認知症ケア研究会主催 令和4年度 第7回研修会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 「認知症高齢者の食事ケア 食べる喜びを支えるために」
3. 学会等名 高齢者総合福祉施設サン・グレイス 職員研修会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 「高齢者の理解」(認知症高齢者の食支援を含む)
3. 学会等名 回復期リハビリテーション病棟協会 2022年度回復期リハビリテーション看護師認定コース 第15期(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ritsuko Yamada, Fumie Murai, Yuko Yamamoto, Kayoko Ishimura, Aya Ishihara, Akiko Suzuki
2. 発表標題 Factors affecting career continuity intentions among assistant professors of nursing in Japan
3. 学会等名 the 25th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐々木康之輔, 豊田吉哉, 小野稔, 千葉由美
2. 発表標題 心臓移植患者に対する看護支援の学術的調査の動向
3. 学会等名 第58回日本移植学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 肺移植における誤嚥に関する文献検討
3. 学会等名 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会交流集会「他職種に知ってもらいたい看護力 ~その人らしい生活を支援するために看護師ができること~ : 高度看護実践者としての役割を目指して」
3. 学会等名 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 日本エンドオブライフケア学会第5回学術集会シンポジウム4「最期まで口から食べるを支援するcomfort feedingの実践」
3. 学会等名 日本エンドオブライフケア学会第5回学術集会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 高齢患者の心臓移植医療に関する文献検討
3. 学会等名 日本老年看護学会第25回学術集会(Web開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 補助人工心臓(VAD)の装着患者に対する看護に関する文献レビュー
3. 学会等名 第16回日本クリティカルケア看護学会(Web開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 千葉由美, Susan Thomas, Willian G. Moser, 柳田朗, 豊田吉哉
2. 発表標題 看護学部生の米国の大学附属病院における臨床体験からの学び
3. 学会等名 第56回日本移植学会オンライン総会 (Web開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 摂食嚥下障害を有する心疾患患者の身体・臨床的指標の特徴
3. 学会等名 第62回日本老年医学会学術集会 (Web開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mai Chiang, Ritsuko Yamada, et al.
2. 発表標題 Characteristics of Faculty Members Working at Nursing Universities in Japan: Supporting the Career Development of Nursing Educators at the Early Career Stage.
3. 学会等名 23rd EAFONS
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Maki Shirobe, Yuki Ohara, Yutaka Watanabe, Keiko Motokawa, Ayako Edahiro, Hirohiko Hirano, Hisashi Kawai, Hunkyung Kim, Kazushige Ihara, Yoshinori Fujiwara, Shuichi Obuchi.
2. 発表標題 Factors Affecting Discontinuation of Regular Dental Visits in the Elderly.
3. 学会等名 2019 International Symposium on Dental Hygiene.
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yuki Ohara, Maki Shirobe, Ayako Edahiro, Keiko Motokawa, Hirohiko Hirano, Hisashi Kawai, Hunkyung Kim, Kazushige Ihara, Yoshinori Fujiwara, Shuichi Obuchi, Yutaka Watanabe.
2 . 発表標題 Associated factors of poor oral health related to quality of life among the community-dwelling older Japanese population.
3 . 学会等名 2019 International Symposium on Dental Hygiene
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Keiko Motokawa, Yuki Ohara, Maki Shirobe, Ayako Edahiro, Masanori Iwasaki, Hirohiko Hirano, Yutaka Watanabe.
2 . 発表標題 Qualitative research on nutrition improvement measures at adult daycare facilities in Japan.
3 . 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yoshihiro Kugimiya, Yutaka Watanabe, Yuki Ohara, Kentaro Igarashi, Daichi Hoshino, Keiko Motokawa, Ayako Edahiro, Takayuki Ueda, Tomofumi Takano, Kaoru Sakurai, Yu Taniguchi, Akihiko Kitamura, Ikuo Nasu, Shoji Shinkai, Hirohiko Hirano.
2 . 発表標題 Investigation of masticatory performance-related factors associated with mixing ability and shearing ability in a community-dwelling older population.
3 . 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress.
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Maki Shirobe, Takeshi Kikutani, Tetsuro Sato, Tomoki Tanaka, Katsushi Tamaki, Haruka Tohara, Kazuko Nakajo, Misa Nishimoto, Hirohiko Hirano, Shouji Hironaka, Tatsuo Yamamoto, Yutaka Watanabe, Takuo Ishii, Shunsuke Minakuchi, and Katsuya Iijima.
2 . 発表標題 Dealing with deterioration of oral frailty in dental clinics a randomized comparative control study .
3 . 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kentaro Igarashi, Yutaka Watanabe, Yoshihiro Kugimiya, Hisashi Kawai, Keiko Motokawa, Masayasu Ito, Kazushige Ihara, Yoshinori Fujiwara, Shuichi Obuchi, Hirohiko Hirano, Yasuhiko Kawai.
2 . 発表標題 Prevalence of oral hypofunction in Japanese community-dwelling elderly in an urban area.
3 . 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hirohiko Hirano, Ayako Edahiro, Shuichi Awata, Tetsuo Itikawa, Yutaka Wanabe.
2 . 発表標題 The statement of position for dental care and the dental treatment guideline for the elderly peoples with dementia.
3 . 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hisashi Kawai, Shuichi Obuchi, Yutaka Watanabe, Hirohiko Hirano, Yoshinori Fujiwara, Kazushige Ihara, Hunkyung Kim, Yoshiyuki Kobayash, Masaaki Mochimaru, Eiki Tsushima, Kozo Nakamura.
2 . 発表標題 Association between frailty and daily living walking speed measured by smartphones with built-in global positioning system (GPS).
3 . 学会等名 11th International of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Masashi Yasunaga, Hisashi Kawai, Manami Ejiri, Takashi Kera, Yutaka Watanabe, Yoshinori Fujiwara, Hirohiko Hirano, Motonaga Kojima, Harumi Nakada, Shuichi Obuchi.
2 . 発表標題 Effect of frequency of participating in the region activity on subjective well-being: 3-years prospective study of urban Japanese older adults.
3 . 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Misa Nishimoto, Tomoki Tanaka, Yutaka Watanabe, Hirohiko Hirano, Takeshi Kikutani, Tetsuro Sato, Kazuko Nakajo, Katsuya Iijima.
2. 発表標題 Oral frailty is associated with deterioration of both oral health behaviors.
3. 学会等名 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Misa Nishimoto, Tomoki Tanaka, Yutaka Watanabe, Hirohiko Hirano, Takeshi Kikutani, Tetsuro Sato, Kazuko Nakajo, Katsuya Iijima.
2. 発表標題 Oral Frailty Is Associated With Multifaceted Frailty in Elderly Outpatients at Community Dental Clinics.
3. 学会等名 GSA 2019 Annual Scientific Meeting
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yumi Chiba, Ashly Johnson Whiting, Janet Wong, Alyse Voulo, Norihisa Shigemura, Gengo Sunagawa, Yoshiya Toyoda.
2. 発表標題 A System for Dysphagia to Lung Transplant Patients at Temple University Hospital in the USA.
3. 学会等名 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yumi Chiba
2. 発表標題 Characteristics of Physical Change related to Myocardial Infarction in Mice.
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 "食べる"を取り巻く現任教育の在り方
3. 学会等名 第10回日本摂食嚥下障害看護研究会関東支部研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千葉由美, 池亀俊美, 細田徹
2. 発表標題 慢性虚血性心不全患者への幹細胞移植治療に対する思いの検討
3. 学会等名 第15回日本移植・再生医療看護学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村郁海, 千葉由美
2. 発表標題 食餌中のn-3/n-6系脂肪酸の含有量の違いによる癒着への影響 - 動物モデルマウスを用いた実験より -
3. 学会等名 第15回日本移植・再生医療看護学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 篠崎澪, 千葉由美
2. 発表標題 n-3/n-6系脂肪酸含有量の異なる食餌別に見た心筋梗塞後の心機能の経時的変化
3. 学会等名 第15回日本移植・再生医療看護学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 看護学部生を対象とした海外研修における移植医療の体験報告
3. 学会等名 第55回日本移植学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大橋伸英, 陳 雪霏, 柳田 健, 竹田 敦, 光藤健司
2. 発表標題 嚥下障害を呈した抗SRP抗体陽性壊死性筋症の一例.
3. 学会等名 第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大橋伸英, 中鍛治里奈, 林 雄一郎, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小栗千里, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 口腔癌再建術後SSIに関わる危険因子・抑制因子と専門的口腔ケアの有効性の検討.
3. 学会等名 第64回日本口腔外科学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小栗千里, 杉山聡美, 林 雄一郎, 大橋伸英, 馬場隼一, 大屋貴志, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小泉敏之, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 下顎扁平上皮癌T4症例に対する逆行性超選択的動注化学放射線療法の検討.
3. 学会等名 第43回日本頭頸部癌学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小栗千里, 杉山聡美, 矢谷実英, 林 雄一郎, 大橋伸英, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小泉敏之, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 局所進行下顎扁平上皮癌T4症例に対する逆行性超選択的動注化学放射線療法の検討.
3. 学会等名 第64回日本口腔外科学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳 雪霏, 來生 知, 大橋伸英, 大屋貴志, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小栗千里, 小泉敏之, 廣田 誠, 光藤健司
2. 発表標題 口腔領域の同時性多発癌(3重癌)に対するcetuximab併用動注化学放射線療法が奏功した1症例.
3. 学会等名 第207回日本口腔外科学会関東支部学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳 雪霏, 大屋貴志, 矢島康治, 大橋伸英, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小栗千里, 小泉敏之, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 局所進行口底癌に対する逆行性超選択的動注化学放射線療法の治療効果.
3. 学会等名 第64回日本口腔外科学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 富永拓也, 大屋貴志, 大橋伸英, 矢島康治, 本田康二, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小栗千里, 小泉敏之, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 下顎に生じた歯牙硬組織の形成を伴うエナメル上皮線維種の1例.
3. 学会等名 第208回日本口腔外科学会関東地方会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 仲盛優菜, 大橋伸英, 矢島康治, 大屋貴志, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小栗千里, 小泉敏之, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 8歳男児の左側上顎前歯部歯肉に発生したパーキットリンパ腫の1例.
3. 学会等名 第64回日本口腔外科学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 林 雄一郎, 大澤昂平, 中鍛治里奈, 南山周平, 大橋伸英, 飯田昌樹, 岩井俊憲, 小澤知倫, 小泉敏之, 小栗千里, 廣田 誠, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 当科における進行上顎歯肉癌に対する逆行性動注化学放射線療法の治療成績と予後因子の解析.
3. 学会等名 第43回日本頭頸部癌学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 林 雄一郎, 大橋伸英, 矢島康治, 飯田昌樹, 大屋貴志, 岩井俊憲, 小泉敏之, 小栗千里, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 頭頸部悪性唾液腺腫瘍に対する逆行性動注化学療法の治療成績.
3. 学会等名 第64回日本口腔外科学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大橋伸英
2. 発表標題 摂食嚥下機能評価について～嚥下内視鏡検査を中心に～
3. 学会等名 第13回神奈川県歯科医師会・口腔外科学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 教育シンポジウム「病態生理に基づく全身・口腔への看護実践のポイント」
3. 学会等名 第28回日本病態生理学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chiba Y, Ohashi N, Watanabe Y, Motohashi K, Tohara H, Nohara K, Nakayama E, Minegishi S, Ishigami T, Yamada R, Ichimura K, Nito T.
2. 発表標題 Practice for Dysphagic Patients with Cardiac Operation : Literature Review
3. 学会等名 The 3rd Japan-Korea Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 シンポジウム「がん治療における口腔ケア-看護師の立場から」
3. 学会等名 第72回国立病院総合医学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中山潤利, 鈴木堅司, 日野遥香, 酒井真悠, 長島有毅, 植田耕一郎
2. 発表標題 延髄梗塞後に胃瘻を造設した重度嚥下障害患者が2年後に常食摂取が可能となった一例
3. 学会等名 第31回日本老年歯科医学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中山澗利, 戸原玄, 木村将典, 渡邊真央, 大嶋晶子, 日野多加美, 植田耕一郎
2. 発表標題 サルコペニアによる嚥下障害患者の舌骨および甲状軟骨の移動距離の経時変化
3. 学会等名 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堺琴美, 中山澗利, Pulia NR, Urayama K, 武久洋三, 植田耕一郎, 高橋理
2. 発表標題 表面筋電図を使用した嚥下中の筋活動時間とサルコペニア嚥下障害の関連-A pilot study
3. 学会等名 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大嶋晶子, 中山澗利, 日野多加美, 石橋尚基, 木皿歩, 山口浩平, 原豪志, 戸原玄
2. 発表標題 サルコペニアによる嚥下障害患者に対し、回復期退院後も継続した栄養サポートが有効であった一症例
3. 学会等名 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakai K, Nakayama E, Pulia RN, Urayama K, Ueda K, Takehisa T, Takehisa Y, Takahashi O.
2. 発表標題 Characteristics of Sarcopenic Dysphagia: Measurement of Suprahyoid Muscle Activity Using Surface Electromyography.
3. 学会等名 The 26th Annual DRS Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大橋伸英
2. 発表標題 進行舌癌における逆行性超選択的動注化学放射線療法と栄養学的予後に関する検討
3. 学会等名 日本静脈経腸栄養学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大橋伸英, 大澤昂平, 中鍛冶里奈, 林雄一郎, 南山周平, 飯田昌樹, 小泉敏之, 廣田 誠, 來生 知, 光藤健司
2. 発表標題 進行舌癌における逆行性超選択的動注化学放射線療法と栄養学的予後指標に関する検討
3. 学会等名 日本口腔外科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大橋伸英
2. 発表標題 『全身循環と口腔が多臓器に及ぼす病態生理』 口腔内の感染、口腔機能低下が全身に与える影響とは？
3. 学会等名 日本病態生理学会 教育シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大橋伸英
2. 発表標題 口腔癌動注化学放射線療法って“支持療法”の視点からはどうなの？
3. 学会等名 第18回頭頸部癌術後機能研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川真奈美, 山田律子
2. 発表標題 介護老人保健施設における認知症高齢者へのエンドオブライフ・ケア～多職種協働を意図した介入とその成果
3. 学会等名 日本老年看護学会第23回学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福田智子, 前谷彰子, 大山千尋, 米谷和敏, 吉川美幸, 大辻誠司, 内海久美子, 山田律子
2. 発表標題 認知症初期集中支援チームの取り組み～看護師の役割と予防の視点か
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 最期まで食べる喜びを支えるために：多職種協働によって拓かれるケア
3. 学会等名 第20回日本医療マネジメント学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 認知症高齢者へのケア・歯科治療における環境づくり：人間工学的技法から考える
3. 学会等名 日本歯科人間工学会第34回研究発表大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 「認知症高齢者の食べる喜びを支えるケア」
3. 学会等名 日本看護協会 平成30年度神戸研修センター開催研修（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 「認知症の基本と食について」
3. 学会等名 北海道歯科医師会 歯科医療従事者認知症対応力向上研修（招待講演）
4. 発表年 2018年～2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 「認知症の人の食べる喜びを支えるために」
3. 学会等名 介護関係職員医療連携支援研修（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田律子
2. 発表標題 「認知症の人のための食事ケア」
3. 学会等名 摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程フォローアップ研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamada R.
2. 発表標題 Environmental arrangement for enhancing self-feeding in the elderly with dementia.
3. 学会等名 International Conference on Problem-Oriented Evidence Care and Research Forum on Patients with Dementia, Taipei Medical University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamada R.
2. 発表標題 Nutrition Support for the elderly with dementia : Especially focusing on eating support.
3. 学会等名 International Conference on Problem-Oriented Evidence Care and Research Forum on Patients with Dementia, Taipei Medical University. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 二藤隆春
2. 発表標題 嚥下障害を呈した慢性ミオパチー型筋サルコイドーシスの一例
3. 学会等名 第42回日本嚥下医学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 二藤隆春
2. 発表標題 リハビリテーションの一環としての嚥下機能改善手術
3. 学会等名 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 二藤隆春
2. 発表標題 パネルディスカッション「誤嚥性肺炎 - それぞれの視点から - 」「嚥下手術」
3. 学会等名 第70回日本気管食道科学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 二藤隆春
2. 発表標題 嚥下障害の診断と治療
3. 学会等名 第44回日耳鼻夏期講習会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 二藤隆春
2. 発表標題 Surgical treatment for dysphagia in the elderly: selection of surgical procedures and outcome.
3. 学会等名 20th WCBIP/WCBE（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千葉由美
2. 発表標題 一般病院におけるがん入院患者の摂食嚥下障害に関連する症状の発生状況
3. 学会等名 日本がん看護学会学術集会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 山田律子 (編集)枝広あや子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本看護協会出版会	5. 総ページ数 183
3. 書名 認知症 plus 食のケア	

1. 著者名 山田律子 (編集)桑田美代子, 吉岡佐知子, 西山みどり	4. 発行年 2022年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 237
3. 書名 超高齢者の緩和ケア (担当: 3章B.「環境」を調整することの意味と加齢変化による影響)	

1. 著者名 山田律子 (編集)日本認知症ケア学会編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ワールドプランニング	5. 総ページ数 320
3. 書名 改訂6版 認知症ケアの実際 : 各論 (担当: 第1章認知症の医療とケア)	

1. 著者名 千葉由美訳, 山脇正永監訳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 102
3. 書名 医療現場のリーダーシップABC, 第7章組織のリーダー	

1. 著者名 千葉由美訳, 山脇正永監訳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 102
3. 書名 医療現場のリーダーシップABC, 第8章複雑な環境を率いる	

1. 著者名 千葉由美訳, 山脇正永監訳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル	5. 総ページ数 102
3. 書名 医療現場のリーダーシップABC, 第9章臨床サービスのリーダーシップと改善	

1. 著者名 合場千佳子, 青山旬, 中山澗利ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 320
3. 書名 最新歯科衛生士教本用語集	

1. 著者名 粟屋剛, 植田耕一郎, 中山澗利ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 一般財団法人 口腔保健協会	5. 総ページ数 239
3. 書名 歯科衛生士のための口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション 改訂版	

1. 著者名 山田律子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本臨牀社	5. 総ページ数 797
3. 書名 老年医学(下) - 基礎・臨床研究の最新動向(担当:「 . 老年看護学-栄養関連障害(摂食嚥下障害, 低栄養, 脱水)」)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	戸原 玄 (Tohara Haruka) (00396954)	東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授 (12602)	
研究分担者	中山 潤利 (Nakayama Enri) (10614159)	日本大学・歯学部・准教授 (32665)	
研究分担者	野原 幹司 (Nohara Kanji) (20346167)	大阪大学・歯学研究科・准教授 (14401)	
研究分担者	渡邊 裕 (Watanabe Yutaka) (30297361)	北海道大学・歯学研究院・准教授 (10101)	
研究分担者	三枝 祐輔 (Saigusa Yusuke) (30806469)	横浜市立大学・附属病院・助教 (22701)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	石上 友章 (Ishigami Tomoaki) (50264651)	横浜市立大学・医学部・准教授 (22701)	
研究分担者	二藤 隆春 (Nitou Takaharu) (60334372)	埼玉医科大学・医学部・准教授 (32409)	
研究分担者	山田 律子 (Yamada Ritsuko) (70285542)	北海道医療大学・看護福祉学部・教授 (30110)	
研究分担者	大橋 伸英 (Ohashi Nobuhide) (70783752)	札幌医科大学・医学部・助教 (20101)	
研究分担者	市村 久美子 (Ichimura Kumiko) (00143149)	秀明大学・看護学部・教授 (32513)	
研究分担者	峯岸 慎太郎 (Minegishi Shintaro) (80458398)	横浜市立大学・医学研究科・客員研究員 (22701)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------